

第 246 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 7 年 12 月 22 日（月） 15：00～15：55

場 所：浜田市立中央図書館 2 階多目的ホール

出席者：岡田教育長 杉野本委員 倉本委員 浅津委員 三浦委員

事務局 草刈部長 藤井課長 山口課長 石橋室長 松井課長 山本課長

書記：日ノ原係長 堀上主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市教育委員会個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例施行規則の一部を改正する規則について（資料 1）
- (2) 教職員の人事異動について

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

委員方には、今年もあと 10 日ほどで終わろうとしているこの年末の大変お忙しい中、お出かけいただきありがとうございます。

今日の定例会の議題を見ていただきたいが、開会にあたって、まず、議題 2 の教職員の人事異動について、お諮りしたいことがある。この会議は、基本的には公開となっているが、公開、非公開の取扱いについては、委員方にお諮りしたいと思っている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項のただし書きにおいて、人事に関する事件その他の事件については、教育長または教育委員方の発議により、出席者の三分の二以上の多数で議決した時には、これを公開しないことができるということになっている。

議題 2 については、教職員の人事に関することになるため、会議を非公開として開催したいと考えている。

なお、この法律の規定により、公開、非公開については討論を行わずその可否を決することとなっているため、最初にお諮りしたいと思う。

各委員
岡田教育長

議題2については、非公開の取扱いとすることに異論はないか。
異議なし。

議題2については、非公開での審議とさせていただく。会議の最後に関係職員のみで行いたいと思うため、よろしく願います。

それでは、引き続き教育長報告に移らせていただく。お手元の資料をご覧ください。

① 11月30日（日）モルック健康促進プロジェクト（サンビレッジ浜田）

11月30日に、モルック健康促進プロジェクトがサンビレッジ浜田で開催された。これは、浜田ロータリークラブ様からモルックの競技用具10セットを浜田市にご寄贈いただき、その体験会がサンビレッジ浜田で開催されたものである。主催は、浜田ロータリークラブ様になる。

実際、私も挨拶に出かけていき様子を見たが、モルックは誰でもいつでもどこでもできる軽スポーツだと思う。職場や地域で楽しくコミュニケーションを図るためのレクリエーション的な活用も期待できるのではないかと考えている。いただいたセットを活用させていただき、普及に努めていきたいと考えている。

② 12月1日（月）12月議会開会（提案説明）

12月1日から12月議会が開会となった。教育委員会関係では、10人の議員の方から一般質問を受け、17件の請願と1件の陳情もあった。また、益井俊雄奨学基金条例や学校給食費の物価高騰対策事業予算の承認を受けたところである。詳細については、後ほど部長から報告をさせていただく。

③ 12月7日（日）浜田市人権・同和教育講演会（いわみーる）

12月7日に浜田市人権・同和教育講演会が開催された。今年は、子どもの人権に関する内容であったが、私は浜田市子ども計画の策定などを契機にして、ぜひこのことは取り上げていきたいテーマと考えていたため、この子どもの権利についての理解が深まる本当に良い講演会になったのではないかとと思う。教育委員方で参加された方は、大変お疲れ様でした。

④ 12月11日（木）人事異動に係る校長面談（教育委員室）

12月11日から、いよいよ来年に向けての教職員の人事異動に関する校長面接が始まった。3月の内示に向けて、浜田教育事務所と相談しながら、学校現場の現状を踏まえた異動につい

各委員

て考えていきたいと思う。

以上、補足が必要なところを中心に教育長報告とさせていただきたいと思うが、何かご質問等はあるか。

特になし。

2 議題

(1) 浜田市教育委員会個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例施行規則の一部を改正する規則について（資料 1）

日ノ原係長

それでは、資料 1 をご覧いただきたい。3 番の目的・理由についてである。地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、住民記録等の業務を令和 8 年 1 月以後、国の示した標準仕様書に準拠したシステムに移行する中、一元的に住登外者の登録・管理を行う「住登外者宛名番号管理機能」を扱う事務については、マイナンバーの独自利用を行う事務等として条例に定める必要があるとの見解が国から示されたため、条例の改正に伴い、所要の改正を行うものである。

4 ページをご覧いただきたい。参考として、改正条例を付けている。こちらの条例の 5 ページの下をご覧いただきたい。下欄の別表第 3 追加事項にて、教育委員会の欄に住登外者宛名番号管理機能による住登外者の情報の管理に関する事務であって規則で定めるものとある。このため、2 ページの新旧対照表をご覧いただきたい。教育委員会の改正が第 3 条に住登外者宛名番号管理機能関係事務について追加するものである。なお、施行日は公布の日となる。

説明は以上である。

岡田教育長

委員方からご質問等あるか。

簡単にいうと、公共団体の情報システムを標準化するために、マイナンバーの情報を活用する事務については、きちんと条例にうたう必要があるということか。

日ノ原係長

そこの中の住登外者の部分である。

岡田教育長

それが、教育委員会の所管している規則の中にあるからか。

日ノ原係長

市長と教育委員会と両方それぞれ規則があるため、その中に追加する。

岡田教育長

そこをそれぞれ追加で改正をするということか。

日ノ原係長

そうである。

岡田教育長

委員方いかがか。

各委員

全会一致で承認

3 部長・課長等報告事項

草刈部長

令和7年度 一般会計補正予算（第7号）説明資料（資料2）

資料2をご覧いただきたい。こちらは一般会計補正予算（第7号）である。12月定例会議が12月1日から17日までの17日間あったが、これは追加提案分のため、12月8日の追加提案となったものである。補正の予算の内容だが、人事院勧告及び島根県人事委員会勧告並びに人事異動等に基づく人件費等の調整を行うものである。

予算の規模だが、補正額は77,499千円の追加で、補正後の予算総額は45,838,094千円ということになる。

下の番号でいうと、16ページ以降のところは10の教育費が19ページまでであるが、32事業あり、全体では31,689千円の事業費の追加ということになっている。

個別の事業の説明は省略させていただき、今回の人件費のところの部分の内容だが、職員の給与改定、会計年度任用職員の給与改定、特別職員の給与改定は、教育委員会に関係する部分である。

月例給は引き上げになり、4月に遡って対応するというところになっている。平均で約3.3%の引き上げということになる。

期末・勤勉手当については、それぞれ0.025月分の引き上げということになるため、合計は0.05月分が引き上がる。4.6月が4.65月、合計で引き上げとなる。

令和7年度は、6月は支給が終わっているため、12月のボーナスで0.05月分は調整をし、令和8年度以降は、6月と12月のところで、それぞれ分割して対応するという様な内容になっている。

資料2については、以上である。

岡田教育長

これは、議会で議決をいただいた内容を、これまで教育委員会の定例会の方では示していなかったため追加した。

草刈部長

個人一般質問 通告一覧（令和7年12月浜田市議会定例会議）（資料3）

資料3をご覧いただきたい。これは、一般質問の通告一覧ということになっているが、今回、委員会代表質問はなかったた

め、個人一般質問となる。全体で 21 名 265 項目あり、教育委員会関係は先ほど教育長からもあったが、10 人 56 項目が教育委員会関係である。アンダーラインを引いてあるところが、今回教育委員会に該当する項目となっている。

今回から、答弁書はつけていない。内容については、議会のホームページに動画等がアップされている。もしくは、ケーブルテレビですすでご覧になられた方もおられると思うが、そちらの方で確認をしていただければと思う。

資料 3 については、以上である。

資料 3 は、質問が多すぎて、持ち時間を過ぎたものについては、実際にご質問を受けなかったものもある。

2 ページの森谷議員のご質問のうち、63 番 64 番は時間切れでやっていないため、ご承知おきいただきたい。

岡田教育長

草刈部長

令和 7 年 12 月浜田市議会定例会議議決結果等一覧（資料 4）

資料 4 である。こちらについては、請願の部分であり、今回の議会の請願では全体で 66 件あり、文教厚生委員会付託分が 35 件あった。そのうち、教育委員会の関連だが、1 ページ目の中段やや下の請願第 33 号から裏面の請願第 49 号までが関連で、17 件あった。一番右の所に議会として、採択、不採択とあるが、採択分が 12 件、不採択が 5 件ということになっている。採択された部分の議会での質疑について説明させていただく。

請願第 34 号が最初の採択だが、こちらについては給食費の関係で、負担軽減をすでに行っているかの確認を行い、令和 5 年度から給食費の値上げの激変緩和を 1 年、令和 7 年度についても延長して、小学校 1 食当たり 8 円、中学校 9 円の補助をしている。

食材費の高騰対策としては、主食である米の部分が 1 食当たり 49 円の補助、これは 1 号補正と 6 号補正両方合わせて 49 円である。副食のいわゆるおかずについては、1 食当たり 32 円の補助を行っている。これは 6 月の追加分である。この様に説明を行っているところである。

請願第 35 号である。給食の地産地消についてである。こちらについては、地産地消の割合等についての確認に対して、令和 6 年度は 83.26%ということで、近年は 80%前後で推移しているという説明をした。それから、目的・価格・量の確保につ

いての確認、いわゆる地産地消の目的については、食育を通じた郷土愛の醸成、価格については一般的に割高になる。量については、浜田学校給食センターでは物によっては足りないことがあるという状況を説明した。

請願第 36 号である。教育委員会の会議の公開範囲の拡大についてだが、公開、非公開、議事録の作成、情報公開についての確認に対して、定例会については公開で議事録を作成し、ホームページに掲載する。協議会は、任意の会のため非公開で、議事録は作成していないということである。それぞれの会議も情報公開の対象であると説明している。

請願第 37 号である。図書館のところだが、図書館での市民の方の意見の拾い方、開館時間についての確認に対して、拾い方はご意見箱、メール、職員へ直接の申し出、ボランティア団体を通じて、図書館協議会委員などからの意見をいただく等、複数の方法で吸い上げているということである。開館時間については、中央図書館では、9時から19時までであり、県内でも長い方だということを説明した。

請願第 38 号は不登校についてである。授業の動画配信の関係である。配信の方法等についての確認に対して、児童生徒との調整によってライブ配信を行っている。すべての授業を録画配信するまでの人員が確保できないこともあり、すべての授業を録画してアーカイブの様なシステムは作っていない。改善の検討は行うという説明をした。それから、学校とタブレットで繋がる人数の確認に対しては、令和7年度は7校で14名、令和6年度については10校で11名というふうに説明した。

請願第 39 号である。部活動の地域移行についてである。地域移行を行っている部活動の現状の確認に対して、陸上部が月1回か2回程度合同部活動として、浜田市陸上競技場、益田市陸上競技場、第一中学校の体育館等で行っていると説明した。

請願第 40 号は、学校トイレの洋式化に関するところである。洋式化の現状と1ヶ所は和式を残す理由についての確認に対して、校舎は令和4年度、令和5年度で洋式化が完了した。体育館は、令和4年度から令和7年度までの今年度中に洋式化が終了する予定である。和式を残す理由ということだが、和式という形式のトイレがあることの学習的な部分、それから、学校の洋式トイレを家族以外では使えない一定数の子どもがいると

ということが理由だという説明をしている。

請願第 41 号は、通学路の安全についてである。危険箇所の有無、見守りボランティアゼロの部分についての確認に対して、令和 6 年度末時点で学校 PTA 等から要望が 557 ヶ所あり、令和 7 年度に 23 ヶ所の対策をすることになっている。見守りボランティアゼロの校区はないということを説明した。

請願第 42 号については、質疑確認はなかった。

請願第 43 号である。こちらは、報告書の数値の正確性についての確認に対して、係争中の案件で個別の回答は差し控えるということである。それと報告書全体として妥当と判断していること。丁寧に説明をしていくという説明をした。

それから、令和 6 年に総務文教委員会、議会全員協議会を通じて議会が了解したと認識しているがそれが間違いないかとの確認に対して、総務文教委員会、全員協議会を通じて議会に理解してもらったと考えているという説明をした。

番号が少し飛び、2 ページ目の請願第 48 号である。こちらについては、現状の確認はなかった。

請願第 49 号については、市民からカスタマーハラスメントを受けた経験がある者、職員を守るための対策、ハラスメント条例制定についての確認に対して、ハラスメントを受けた経験者に挙手をしてくださいということであったため、挙手をする執行部が若干いた。それと自己申告書、職場のヒアリング、人事課の相談、クレーマーを管理職で対応するなど、実施をしていると説明した。これは職員を守るためのものだが、まだまだ不足しているという認識である。条例制定に向けて動き出すことなどを説明した。

それから、学校のいじめ対策についての確認に対しては、毎年度いじめ防止基本方針を定めて、学校できめ細かく適切に対応していると説明した。

請願については、基本的には現状の確認という部分のため、請願は議会に対してされるため、議会でどう判断されるかの参考にするため、執行部側には現状の確認を行われたということである。中には、行われない部分の請願もあったということになる。

資料 4 について、以上である。

資料 4 について、少し私からも補足をさせていただく。本当

岡田教育長

に今回多くの請願が出された。中でも、教育委員会の担当していることも多かったが、請願が採択されたのは、今やっていないから採択されたのではなく、対応しているものも当然ある。そういうことを承知の上で、採択という議会の方での決定がされたため、この件について、その様にやっていることも含まれているということでご承知おきいただきたいと思う。

それから、特に請願の第 36 号の教育委員会の会議の公開範囲の拡大を求める請願についてだが、これは今、非公開でなおかつ議事録も作っていないという教育委員会の協議会に対する意見などもあった。基本は、教育委員会の会議は原則公開だが、特に非公開で話をしなければいけない案件というのも多々あると思っている。

ただ、これからはこれまで任意の協議会で開催していたものについては、今後、正式な定例会などに組み込んで、その中で公開、非公開ということを整理させていただいて、より透明性を確保したいと思っている。

この件について、委員方いかがか。

異議なし。

では、委員方からご承認いただいたため、今後はその様に取り扱っていきたいと思う。

その他、先ほどの部長からの報告に対して、ご質問等あるか。
特になし。

各委員
岡田教育長

各委員

藤井課長

行事等予定表（資料 5）

資料 5 をご覧いただきたい。行事等予定表である。

教育委員方に特にご出席をお願いしたいところについては、丸印をつけているが、1 月 3 日の令和 8 年浜田市二十歳の集いについては、前回の定例会で出欠のご案内をさせていただき、皆様からもう提出をいただいていると聞いている。お正月早々だが、ご出席の方よろしく願います。

次に、次回の第 247 回教育委員会定例会が 1 月 26 日月曜日、15 時からこちらの中央図書館で開催されるため、よろしく願います。

以上である。

資料 5 について、ご質問はあるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

山口課長

令和7年度第12回浜田市図書館を使った調べる学習コンクールについて（資料6）

資料6をご覧いただきたい。令和7年度第12回浜田市図書館を使った調べる学習コンクールについて説明する。

今年度、年度当初から各学校に募集等の公募を開始して、その間、作品を募集した。12月10日に最終の表彰式を行ったところである。

今年度各学校から、全体で1,757件の応募作品があった。これは個人である。また、学校でグループ学習した部分も含めて、追加で143件の応募があったところである。このうち、裏面にあるとおり、個人一般部門の低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校の部と自由部門というかたちで、最終的に残ったものになる。

特に一般の部の作品については、公益財団法人の図書館振興財団が主催する全国大会の方に、現在、出品して結果を待っている状況である。

平成26年から実施しており、今回は12回目だが、この活動は、学校教育課、学力向上推進室が進めている学校図書館活用教育を普段の図書館活動を通じて、子どもたちが自分で考えて、楽しく学びを行うという目的で普及しているものである。これに伴い、実際に調べる情報活用能力が高まっていると思っている。引き続き行っていきたいと思う。

以上である。

岡田教育長
各委員

資料6について、ご質問等あるか。

特になし。

石橋室長

第8回（12月）市校長会資料（資料7）

12月の校長会で話したことを報告する。資料7をご覧いただきたい。12月は、5つのことについてお話した。はじめは、いつもの様に浜田市の学力と課題の確認をしていただいた。

まず、1点目に小中連携教育についてである。浜田市小中連携教育においては、島根県学力調査項目を評価に使っていたが、この調査が取りやめになったため、浜田市独自のアンケート調査を行うことにしたと改めて校長先生方にお伝えした。

2点目は、次年度の教育課程の編成に向けてである。各学校から毎年4月に提出していただく教育課程だが、インフルエン

ザによる学級閉鎖や積雪等による臨時休業などに備えて、予備時数を多めにとる学校がある。だいぶ改善されてきたが、毎年70時間も80時間も計上している学校があるため、これから次年度の学習課程を考え始めるこの時期に、話をさせていただいた。予備時数は万が一のための「守りの予備時数」ではなく、学校のカラーを出していくための「創意工夫の予備時数」であって欲しいとしっかりとお願いした。

3点目は、次年度の島根県の学力育成に係る取組の推進についてである。ここからの話は、県・市町村教育長会議・学力育成会議や義務教育推進室関連事業オンライン説明会で使われた資料を基に、1から5のことについてお話した。詳しくは資料をご覧ください。

4点目は、AIドリルについてである。7月に導入し、9月から本格的な活用が始まったAIドリルも、それぞれの学校の創意工夫により活用が進んできた。校長先生方には、WAUの数値が右肩上がりになってきたなど、具体例を挙げながら説明した。校長会の前に、ICT支援員から嬉しい話を聞いた。その支援員は、支援に行っている学校では、5年生、6年生がたくさんAIドリルに取り組んでいるのだが、次第に子どもたちの学力が上がってきたと言われた。私はにわかには信じがたく、校長先生にすぐ電話をした。「AIドリルにたくさん取り組む学級で学力が上がったと聞いたが、何かありましたか。」と聞いたところ、校長先生が5年生と6年生の取組を調べてすぐに教えて下さった。学力が上がったというのは大げさだが、教科テストの知識・技能の問題の正答率が上がってきたのは確かである。6年生は、単元テストの前に、テストパークでプレテストを作らせてさせている様だ。紙の業者テストにもプレテストがついているが、それは簡単な問題である。その先生がやらせているテストパークは、ある程度難しいため、間違いもある様だが、すぐに採点し、間違った問題は必ず直しをさせる。すると、低位の子どもたちは、学習したことが強化されるため、学級の平均正答率を押し上げることになったということだと教えていただいた。また、テストパークに係る時間は30分ぐらいのため、今ではこのテストパークを宿題にしていると教えていただいた。また、その学校では、6年生の様子を日々見ている5年生の先生も同様に、算数と理科でテストパークをやらせる様にな

った。6年生の様にシステム化まではできていないが、確かな手ごたえがあると感じている様だと校長先生が教えて下さった。

ICT 支援員によると、5年生の先生は管理画面から取組状況やクラス内での正答率や解答率、苦手な個所が表示され、授業が進めやすく、復習もやりやすいためとても良いと言っておられるとも教えていただいた。さらに校長先生は、6年生は取りこぼしをしない指導者とそれを素直に実行する児童がいるからだ。指導者がやらせきれるかどうか、子どもがやりきるかどうかというのが大きな分かれ目だということも教えていただいた。

ちなみにこの学校では、特別支援学級でもすき間時間を使ってしっかり AI ドリルに取り組んでいるとのことである。

10月より、ベネッセからその月に各学校の一人一人の児童生徒が取り組んだ問題数も提供してもらっている。このグラフを見ると、その子が取り組んだ問題数に、よくやっている学校とそうでない学校とは、8倍の開きがあるということがわかった。この8倍の差は無視できないのではないか。このことが先ほどの支援員の学力が上がったという発言に繋がっていると思うが、どう思われるかと校長先生に問いかけた。何か学校の動きが出てくるのではないかと期待している。

最後に10月24日、第三中学校校区の学校を会場に、第37回島根県算数・数学教育研究大会（浜田大会）が開催された。その全体会で、浜田市算数・数学授業改善指定校アドバイザーである IPU 環太平洋大学の前田先生の講演があった。参加された先生方にとって学びの多い講演であった。すべてを再現できなかったが、今後の授業改善に繋がると思ったことをまとめて、校長会で紹介した。先生方とぜひ読んでいただき、授業改善の参考にしていただければと思っている。

以上、校長会の報告を終わる。

AI ドリルについて、少し興味深い内容があったが、委員方、ご質問等あればお願いします。

AI ドリルの活用状況が増えてきて、非常に良いことではないかと思っている。素晴らしいことだと思う。また、石橋室長のプレッシャーをかける様な話もあり、一段と進むだろうと思っている。良いことだと思うため、できるだけ情報提供しながら

岡田教育長

倉本委員

学校に進めて欲しいと思う。

それと別件だが、英語の学力テストは CBT になるということで、先ほど少し見たところ、県はペーパーを推奨しているのか。

石橋室長 それは、全国学力調査のものではなくて、たつじんテストで使うものである。

倉本委員 承知した。

一応、統一した共通テストは、CBT でやる予定だと思うが、最近、この資料の 4 ページ目に MEXCBT というのが文部科学省から出ているものであるが、市内の学校で、特に中学校で、英語の勉強に MEXCBT を活用している学校はあったか。

石橋室長 MEXCBT の中にいろいろな問題が含まれており、そういったものを使って事前に学力調査に向けた準備をする様にとというのは、文部科学省の方からも出ており、それを県教委から市教委を通じて各学校にお示ししている。そのため、やっておられる学校もあるが、4 月の全国学力調査でそれが活用されるため、機器に慣れておく必要があったり、問題も 1 回しか読まれなかったり、すぐに答えを求められたりすると、MEXCBT を使った問題にも慣れておく必要があるということで、これまでも話してきたが、難しい部分もあって、前に進んでいない。4 月まであと残りわずかになったため、子どもたちがテストを受ける前に、つまづくことがないように、そのところの強化をしようと考えている。

倉本委員 英語の学力以前に、その機器を使いこなすというところの課題がやはりあると思うため、機器の使い方や入力の手速等をできるだけ慣らしてあげないといけない。それで、点数が取れないのはかわいそうだと思う。そういう情報伝達等も学校にお願いをしたいと思った。

以上である。

石橋室長 機器の活用については、小さい子どももものすごく早くキーボード入力をする。それをずっと積み上げてきている学校においては、本当に ICT を使いこなしている様だが、なかなかそれがすべての学校ではなくて、慣れていない子どもたちもいる。ある程度平らにしていく必要が今後あるのではないかと考えている。

倉本委員 一つ付け加えると、日本語はかなり入力が早くなったという気がする。今度、英作文を英語で打つ時に、やはり考えながら

石橋室長

打つとすごく遅くなる。これは結構見られるため、やはりそれも1つの慣れだろうと思うため、またその辺りも参考にさせていただきたい。

倉本委員

アポストロフィーやダッシュ等、英語に特化していくとまだ十分ではない部分もあるため、強化していきたいと思う。

岡田教育長
各委員

よろしく願います。

その他あるか。

特になし。

松井課長

三浦龍司選手の市長表敬及び歓迎セレモニーについて(資料8)

資料8から資料12まで5件まとめて報告させていただく。まず、資料8である。三浦龍司選手の市長表敬及び歓迎セレモニーについてである。皆さんご存じの通り、世界陸上の3000m障害で8位に入賞され、現在SUBARU所属の三浦龍司選手が、この度帰郷され、浜田市役所に来られた。

少し前だが、11月10日の月曜日に浜田市役所に来られ、まず正面玄関前で職員の歓迎セレモニーを行い、その後、市長応接室の方で市長表敬を行った。

それから、その夜に陸上競技協会主催の祝賀会があり、そちらにもご出席をいただいた。

三浦龍司選手からは、浜田市民の皆さんから温かい応援をいただいていると感謝の思いを述べられた。

下に枠の中に書いてあるが、来年元旦に開催されるニューイヤー駅伝に、SUBARUチームのメンバーとして、出場される予定となっているため、皆さん正月から応援をしていただければと思う。

JFA ころのプロジェクト「夢の教室」の開催について(資料9)

続いて資料9をご覧ください。JFA ころのプロジェクト「夢の教室」の開催についてである。例年、開催させていただく授業だが、JFA(公益財団法人 日本サッカー協会)が子どもの心身の健全な成長を目的として開催している「夢の教室」を実施したため報告する。

開催日は、11月18日の火曜日である。午前中は、三階小学校の20名、午後は旭小学校の18名が対象となった。今回の講

師の先生は、石島雄介さんという元日本代表のバレーボール選手で、愛称が「ゴッツ」と呼ばれていた。現在は、ビーチバレーボールを現役でやっておられ、このゴッツさんのアシスタントとして式田高義さんというサッカー元Jリーガーの方が来られた。

この教室の概要だが、前半は体育館でゲームをしたり、少し遊びを取り入れ、仲間と協力して何かを成し遂げるということを、体を使ってやる様な時間であった。後半は教室で、夢先生のトークの時間で、夢を掴むまでのお話をされた。

趣旨としては、やはり夢に向かって努力することの大切さ、それから仲間と協力することの大切さ、こういったことを夢先生の方から子どもたちに伝えていただいている。

浜田ロータリークラブ モルック競技用具寄贈式について（資料 10）

続いて資料 10 である。冒頭教育長からも報告あったが、浜田ロータリークラブさんから、モルック競技用具を寄贈いただいた。これは、浜田ロータリークラブさんが補助金を活用され、浜田市民の健康促進を目的として行われたもので、寄贈式とは別日にモルック体験会も開催されている。

この度、モルックを 10 セット、それから人工芝 1 コート分、あとは得点板等を寄贈していただいている。

モルック体験会は、11 月 30 日に行われ、72 名の参加があった。子どもから高齢者まで一緒になって軽スポーツを楽しみ、非常に盛り上がった会となった。

エキスパート指導者招聘事業の実施について（資料 11）

続いて資料 11、エキスパート指導者招聘事業の実施についてである。浜田市出身の元 WBC 野球日本代表コーチで現北海道日本ハムファイターズファーム総合コーチを務めておられる清水雅治さんが、今年度の活動を行うため帰郷された。12 月 5 日には、市長表敬をして活動報告をされている。

6 日の土曜日、翌日曜日は、市内の小中学生を対象とした野球の合同練習会と技術指導をされ、6 日土曜日の夕方は、指導者を対象とした講演会、研修会を開催している。

合同練習会は、児童生徒 130 名、講演会は大人約 15 名が参

加し、最先端で活動されている方の指導を受けて、非常に充実した時間になった。

第 34 回浜田－益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の結果（資料 12）

続いて資料 12 が、第 34 回浜田－益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の結果を載せている。12 月 14 日、日曜日に開催され、参加チームは前回から 1 チーム減り 33 チームとなった。それから、当日体調不良者がたくさん出たということで、東出雲 1 チームが欠場となった。上位チームの成績をこちらに載せているが、浜田 A チームが、3 連覇とはならず、第 2 位となった。第 1 位は雪舟益田となっている。

浜田市 5 チームの成績を中段に載せている。浜田 A チームが第 2 位、浜田 B チームが第 14 位、三隅が第 16 位、金城が第 21 位、弥栄が第 32 位となった。

訂正だが、第 33 回の三隅と金城の順位が逆になっていた。三隅が第 19 位、金城が第 11 位となる。

それから、個人・チーム優秀表彰だが、浜田市の選手で区間新記録賞が 2 人出ている。佐々木敦弘さんと福濱駿さんで、このうち佐々木さんは新記録で区間 2 位となり、福濱さんは区間 1 位ということで区間賞を取っておられる。10 位以内の成績は記載のとおりである。

駆け足になったが、説明は以上である。

資料 8 から資料 12 に関してご質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

山本課長

第 6 回及び第 7 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会の会議結果について（資料 13）

資料 13 をご覧いただきたい。第 6 回及び第 7 回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会の会議結果について報告する。今回は、2 回分まとめて報告させていただく。

まず、第 6 回検討委員会だが、11 月 18 日、中央図書館で開催した。参加委員は、13 名で欠席 1 名であった。議題については、「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」についてということで協議をした。

第 7 回検討委員会については、12 月 9 日、同じく中央図書館

で、出席者9名、体調不良の方が多く欠席者5名であった。議題は同じく、「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」についてということで検討を行った。

5回目までは、委員方からいろいろな意見をいただいて、6回目からはこれは基本構想（案）というある程度形にしたものを委員方で検討いただいている。

資料の3の今後の流れにあるとおり、第7回で最終案を固める予定としていたが、皆さんより丁寧な議論をしていただいております。第7回の検討委員会で取りまとめに至らなかったため、今後來年になるが、第8回の検討委員会を開催して、そこで原案について取りまとめを行う予定としている。

以上である。

ただいまの報告について、ご質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

4 その他

(1) その他

岡田教育長
日ノ原係長
岡田教育長

事務局からその他何かあるか。

特になし。

その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いします。

各委員

特になし。

岡田教育長

最初にお諮りしたとおり、引き続き、会議を非公開に切り替えて、開催したいと思う。関係者以外の皆さんは退席をお願いします。

2 議題

(2) 教職員の人事異動について

岡田教育長

金城中学校の教頭先生が10月の中旬にお亡くなりになられて、その後交代の先生が配置出来ていない件になる。今日、島根県の教育委員会の定例会が開催されており、その中で人事案件について諮られている。県の方はおそらく終わっていると思うが、市の方も教育委員の委員方に承認いただく案件になる。人事案件について、私の方からお示しをしてご同意いただきたいと思います。お諮りしたいのは、新しい教頭に、今、浜田教育事務所におられる指導主事（兼）企画人事主事の永田裕介さんを金城中学校の教頭先

生に配置をする予定で考えている。今日、両方の教育委員の承諾を取られたら、明日の午後本人に内示をさせていただくスケジュールである。実際の着任予定で考えているのは、今週の金曜日、12月26日の予定としている。報道への投げ込みが12月26日なので、翌日の27日には掲載されるのではないかと考えている。何とか3学期に間に合わせてということで、その間事務の色々な引継ぎとか校務分掌の確認については、冬休み間に併せて早めにやろうという事で、急遽こういう予定で今人事案件について、教育委員会に諮っている。

ご質問があれば伺う。

各委員
岡田教育長

特になし。

金城中学校の教頭先生に永田裕介さんを配置することで了解いただけるか。

各委員
岡田教育長

全会一致で承認

ありがとうございました。浜田市の教育委員会でも承認をされた事を県にも伝えたいと思う。

以上で本日の会を終了する。

次回定例会日程

定例会 1月26日（月）15時00分から

浜田市立中央図書館2階多目的ホール

次々回定例会日程

定例会 2月20日（金）14時30分から

浜田市役所本庁4階講堂AB

15:55 終了